



地域農業育成室・産地戦略推進室 〒790-8502 松山市北持田町132番地

tel (089) 909-8762 (地域)  
(089) 909-8763 (産地)

伊予農業指導班  
久万高原農業指導班

〒799-3122 伊予市市場127番地1  
〒791-1202 上浮穴郡久万高原町入野263番地

tel (089) 982-0477 愛媛県HPでも  
tel (0892) 21-0314 閲覧できます→



## スマート農業 に取り組んでみませんか？

スマート農業 … 「ロボット、AI、IoT等の先端技術を活用する農業」のこと。  
省力化やデータを活用した生産の安定化が期待できます！



### かんきつ 基盤整備園地でスマート農機を実演

松山市下難波地区のかんきつ基盤整備園地で、スマート農機実演会を開催しました。農家や関係機関職員46名が参加し、愛媛大学が開発中の傾斜地でも荷台を自動で水平に保つ電動運搬台車とリモコン草刈り機の操縦を体験しました。

～農家の声～

今まで汗だくになっていたのにゲーム感覚で草刈りができる！



電動運搬台車によるかんきつの運搬

### ドローン施肥により労力を軽減

松山市興居島地区の伊予柑園でドローンによる施肥の実演会を開催し、若手女性農業者組織「しとらす」のメンバーら17名が参加しました。

～農家の声～

急傾斜地が多い園地で、重たい肥料を運ぶことなく、楽に施肥作業ができる！

ドローン施肥の所要時間	
散布	約20秒
往復(運搬)	約3分

※肥料20kgを散布した時間。

使用した機種：DIJ製AGRAS T25



ドローンによる施肥



### 野菜 モニタリング機器による環境データの活用

若手いちご農家を対象に、データの収集と活用等の勉強会を開催しています。松山市及び東温市の農家6戸に機器を設置し、気温・CO<sub>2</sub>濃度等を測定・分析することで、高品質安定生産を目指しています。また、コスト削減のため、県指導のもと、農家自身が環境計測器を製作し、実用性等について検証しています。

～農家の声～

データ分析することで、生育ステージごとの最適管理に努めたい！



環境データについて情報共有



低コスト環境計測器



### 米麦 スマート田植機で省力化と効率化を推進

伊予市下三谷地区で直進アシスト機能付可変施肥田植機による「ひめの凜」の田植えを実演しました。農家や関係機関職員38名が参加し、作業負担の軽減等について活発に意見交換が行われました。

今後、大規模農家等におけるスマート技術の導入を啓発・推進していきます。

～農家の声～

ハンドルから手を放しても直進してくれるので作業の負担が少ない！



スマート田植機による実演



直進アシスト機能付きで真つすぐ田植えが可能！

## ユーカリ産地振興の取組みが 「全国農業改良普及支援協会会長賞」を受賞！（地域農業育成室）

「第12回農業普及活動高度化全国研究大会」において、県代表として発表した「日本一を目指したユーカリ産地の振興～”強み”を活かし、”弱み”を克服！産地強化を普及がサポート～」と題した普及活動の取組みが評価されました。

中予地域のユーカリ産地では、令和元年頃から発生した原因不明の株枯れ症状に起因した苗木供給量の不足や生産意欲の低下により、栽培面積や生産量が伸び悩んでいました。そこで、市、JA、研究機関と連携しながら、株枯れ症状の原因究明や苗木供給体制の構築、販売促進等に取り組んだ結果、令和5年には生産量172万本、生産額1億5,600万円、生産者144人と産地が拡大しました。

今後も、農業産地に寄り添った普及指導活動を通して、儲かる農業の実現と産地の更なる発展に努めてまいります。



生産拡大を目指すユーカリ農家



表彰式



## 新規就農者の確保と定着に向けて（伊予農業指導班）

農業者の高齢化が進む中、地域の核となる担い手の確保と定着は喫緊の課題となっており、県、市、JAがワンフロアとなっている“強み”を活かし、就農支援に取り組んでいます。

就農希望者の確保に向けては、就農に興味のある方向けの野菜づくり勉強会や、伊予農業高校生を対象とした生産者との就農啓発交流会で愛媛農業の魅力等を発信しました。また、スムーズな就農に向け、補助事業や資金活用による機械や施設の設備、優良農地の確保等を支援しています。

就農後は、定期的に現地巡回指導や面談を行い、早期経営安定と定着を目指しています。

今後もこうした活動を継続するとともに、地域で就農希望者を受け入れ、育成できるような体制を整備することで、就農者の増加を図っていきます。



野菜づくり勉強会



新規就農者のほ場で苗木の管理指導



就農啓発交流会

## 地域食材「雑穀」の活用（久万高原農業指導班）

久万高原地域では古くから地域食材である雑穀が栽培され、郷土料理も多く残っていますが、食生活の変化等により雑穀の生産量も減少傾向にあります。そのため、「久万高原地域食材伝承事業」を活用し、貴重な食文化の伝承とあわせて、新たな需要創出と生産拡大を推進しています。

これまでに雑穀を用いた郷土料理の動画発信や町内学校等を対象とした郷土料理講座等を開催。食文化の伝承を図るとともに、上浮穴高校や福祉施設と連携して新商品を開発し、一般販売につなげることができました。また、専門家が開発した雑穀メニューを町内飲食店等で提供するための調理講習会やイベント等でのPRにより、需要の創出と認知度向上を図ることで、徐々に生産者も増加しています。

今後も新規栽培者の確保や栽培技術の向上を図り、地域農業の活性化に努めます。



福祉施設による商品販売会



雑穀カレーナンの調理体験



「地とうきび」を使った料理

## パクチーの産地振興と販売促進（産地戦略推進室）

パクチーは、管内の標高差を利用したリレー栽培により、周年生産できる産地としての地位を確立してきました。しかし、近年の夏季高温により生育不良や芯腐れ症が発生し、秋季も高温による発芽不良や生育後半の低温による生育遅延があるため、播種のタイミングが難しく、より詳細な技術対策が必要となりました。そこで、実証ほの栽培データを基に、初夏～秋播きでのきめ細かい標高別栽培暦の作成と、カルシウム剤散布による芯腐れ対策法を確立し、技術改善に繋げました。

また、中予産パクチーの知名度向上と需要拡大のため、主な出荷先である大阪市場でのPR活動を行いました。市場からは中予産パクチーのボリュームと品質の良さが評価され、更なる増産が望まれました。今後もパクチーの産地振興に取り組んでいきます。

標高	初夏播き				栽培不可能期間	秋播き				
	播種期間		収穫期間			播種期間		収穫期間		
	播種始め	播種限界	収穫始め	収穫限界		播種始め	播種限界	収穫始め	収穫限界	
100m未満	5/1	6/5	7/20	7/20~8/25	8/25	9/30	10/中	12/中		
200m		6/15			6/中	8/1	8/20		9/25	10/上
400m		6/25			8/10	8/10~8/15	8/15		9/20	9/下
500m		標高500m地域では5/1~9/15の間、播種できる				9/15	-		11/下	
カルシウム剤の散布方法	播種後3週間後(本葉4~5枚時)よりカルシウム剤(800倍)の葉面散布(週1回)を行う									



収穫されたパクチー



パクチーかき揚げうどんの試食会（大阪市場）

標高別栽培暦と芯腐れ症対策（初夏～秋播き）

## 愛媛かんきつの新品種「紅プリンセス」

「愛媛果試第 48 号」(紅プリンセス)は、「愛媛果試第 28 号」(紅まどんな)と「甘平」を掛け合わせて作られた品種で、濃厚な甘みとゼリーのような食感が特徴です。糖度や外観など一定の基準を満たしたものが、「紅プリンセス」として認められ、令和 7 年 3 月 1 日に本格販売が開始されます！

昨年実施した関東での市場調査では、市場や販売店から食味について高い評価を得られました。また、消費者や市場からも柑橘王国愛媛の新品種として期待が大きく、栽培面積や生産量の更なる増加が求められています。そのため、現地実証試験等を通じて、安定生産技術の確立と普及を目指します。



収穫期の紅プリンセス  
(出典：愛媛県 HP)

始動!

## 愛媛お手伝いプロジェクト

中予地域のかんきつ収穫時期の労働力確保のため、県、JA えひめ中央、人材派遣会社(株式会社 VOCE)が連携し、今年度から社会人や学生等を対象とした農業ボランティア「愛媛お手伝いプロジェクト」の募集を開始しました。

松山市潮見地区と興居島地区のかんきつ産地をモデル地区として社会人等のボランティアの受入れを実施。参加者は農家から依頼のあったせとかの袋掛けや伊予柑等の収穫作業をお手伝いしました(12 月末時点で 79 人が参加)。

今後は、同プロジェクトをモデル地区以外にも拡大するとともに、企業や大学、県職員等へのボランティア参加を働きかけ、農繁期の労働力確保を図ります。



プロジェクト HP



ボランティアによる収穫作業

～農家の声～

他産業の人とも交流できて良い刺激となった。今後も続けて活用したい。

周知

## スクミリンゴガイの防除対策を徹底しましょう

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の被害防止には、冬季の対策が有効です。発生地域では越冬貝の密度を下げるため、耕うんや水路の泥上げ等による物理的破壊や寒風へのさらしを行い、被害の軽減に努めましょう。

また、椿油かすはスクミリンゴガイの駆除には使用できません。椿油かすを防除目的で使用した場合は農薬取締法違反となりますので、必ず登録のある農薬を使用してください。



スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)



産卵塊



スクミリンゴガイに登録のある  
主な農薬